



地域学校に乳製品を配布しました。

目次 Contents

未来牧場通信	2~3
地域学校への乳製品配布 他	4
女性部総会 他	5
同志会からのお知らせ	6
卒業式・卒園式	7~9

営農対策情報	10
別海高校活動報告	11
あぐり王国北海道NEXTからのお知らせ	12
生乳課情報	13
組織構成図と職員配置図	14
理事会・乳質乳価	15
組合員の広場	16

新規就農までの道のりを学ぶ

酪農研修センターでは、3月9日(水)農協より相澤宮農部長を招き、J A中春別における新規就農に至るまでの道のりを学びました。

この研修は、令和4年度に向けてそれぞれ2年目、3年目を向ける研修生に対し、就農に向けての具体的な取り進めを確認し、今後の研修に役立てるため実施しました。

講習では相澤部長より、J A中春別における就農候補地のプロセス、就農候補者の認定、就農方式、新規就農支援事業の説明があり、特に必要な要件として、農村での生活は、人と人の繋がりを重んじるため、仲間意識をもって関わり、協調性のある人を入植させる事になりますと、説明がありました。

3年間の研修では、1年目は基礎研修、2年目以降は応用研修と現地農家研修に取り組み、3年目にはいよいよ就農に向けて具体的な取り進めに入ります。

研修生においては、就農に向け今回の内容を基に、自分の営業スタイルを描く上で、非常に参考になりました。

今後は、就農候補地に見合った飼養体系、投資額、償還方法等、具体的な方策を、農協営農部担当者と連携しながら研修を行ってまいります。



未来牧場での研修をふりかえって ———— 安田美琴

こんにちは、なかしゅんべつ未来牧場研修センターの安田美琴です。この春で2年間の研修を終え、感想と感謝を伝えたいので書かせていただきました。

私は兵庫県の農業高校を卒業して、別海町に来ました。小学5年生で漫画「銀の匙」を読んで衝撃を受け、酪農の世界に興味を持ちました。都会で育った私は家畜に触ったことはなく、高校で初めて乳牛を見て、大きい体と丸っこい目がとても可愛くて、一瞬で虜になりました。大学進学も考えましたが、担任の先生から別海高校の農業特別専攻科を紹介され、牧場で実習をしながら、学校で酪農の専門知識を身に付けられることに魅力を感じ、進学を決めました。兵庫から一人で北海道に行くことは不安でしたが、当時は懂れていた念願の北海道に行けることにワクワクしていました。

いざ、学校での勉強と牧場での作業が始まると、思っていた以上に大変で体はクタクタでした。朝早くから起きて、搾乳、除糞、哺乳をして、終わると眠気まなこをこすりながら運転して学校へ行き、一日はあっという間に過ぎていきました。

また、高校とは違い、仕事として見る酪農は時に厳しく辛いものがありました。手塩にかけて管理した牛の淘汰が決まった時や初めて見た安楽死の現場はひどく心が痛みました。



しかし、自分で発情を見つけたり、何か変化に気づけたりすると嬉しく、確実に酪農の世界にハマっている自分がいました。

また、この未来牧場は新規就農を目指している方が研修する牧場のため、私はたくさんの夫婦に挟まれながら作業をしました。

大抵のことはセンター長に従って作業しますが、色々な考えを持つ人がいるので、時に翻弄されたり刺激を受けました。時には、夫婦のため喧嘩の仲裁に入ることも（笑）

しかし、それ以上に切磋琢磨しながら一緒に作業をする時間はとても楽しく、かけがえのないものとなりました。

さらに、新規就農に向けて「酪農業を営む」ための知識を身に付けることができました。これは未来牧場だからこそ学べたものだと思います。

そして、私はこの春から日本農業新聞の根釧地区を担当する記者になります。元々、執筆活動が好きでいつか自分の言葉を通じて、酪農の現状や魅力を伝えたいと考えていました。その夢に向けた第一歩となる挑戦が始まろうとしています。未来牧場で実際に現場を体験して培った知識や技術を生かし、記者として酪農家さんやそれに関わる全ての人の思いを伝えられるように頑張ります。

最後にこれまで支えてくださった、友貞専務、北田センター長、関わって下さった全ての皆様から感謝を申し上げます。北海道での生活が充実したものとなり、これからは道民として生きたい！と思えたのは、皆様のおかげです。本当にありがとうございました。



地域小・中学校・保育園へ

乳製品の配布



当農協では生乳の消費拡大を目的として、地域の保育園・小学校・中学校に通う子どもたちと教職員を対象に「飲むヨーグルト」と「さけるチーズ」各1個を233人に配布いたしました。
処理不可能乳の発生が懸念されている中、牛乳の消費をお願いするとともに、乳製品の魅力を知っていただけるきっかけになればと思います。

農村地域牛乳・乳製品需要拡大運動のお礼と結果報告

実績 6,025,598円

令和3年度農村地域牛乳・乳製品需要拡大運動の取りまとめに、ご協力いただきありがとうございました。

青年部・女性部のお中元・お歳暮ギフト、需要拡大運動第1次～3次、雪印乳製品とりまとめを行い、6,025,598円のご注文をいただき、令和2年度の実績である4,241,007円を大きく上回る結果となりました。

今年度以降も消費拡大をめざし、皆さまにお喜びいただけるように取り組んでいきますので、よろしく申し上げます。

中春別農協女性部

通常総会 全議案が書面議決で可決承認されました

中春別農協女性部（南澤順子部長）では、3月24日（木）に書面での通常総会を開催いたしました。議長には、美原地区の林幸枝氏が選出され、採決が執り行われました。

議案第1号

令和3年度事業報告並びに収支決算について

議案第2号

令和4年度事業計画（案）並びに収支予算（案）について

議案第3号

令和4年度会費の賦課並びに徴収方法について

議案第4号

規約改正について

議案第5号

役員改選について

以上議案第1号から第5号まで全て可決承認されました。



部長 南澤順子
 副部長 田澤順子
 理事 上野佳子
 理事 山本まり子
 理事 齋藤佳子
 監事 高野永子
 監事 遠藤美奈子

幹旋誌のご案内

幹旋誌一覧

- 日本農業新聞（紙版・WEB版）
- 全国農業新聞
- 家の光協会誌
 家の光・地上・ちゃぐりん
 家の光図書の購入、貸し出し
 ※金融窓口の本棚を設置しています。
- デーリイマン
- デーリイジャパン
- 農家の友
- ホルスタイン・マガジン
- 酪農スピードNEWS（デジタル版）
- 全酪新報
- 現代農業

J A中春別では、下記の通り農業新聞や農業関係雑誌の幹旋を行っております。

購読をご希望の方はお気軽に営農振興課までご相談ください。



購読開始をご希望の方、現在購読中で中止をご希望する場合は下記連絡先までご連絡をお願いします。
 J A中春別 営農部 営農振興課 TEL0153-76-2241

巡回ドックのお知らせ

年に一回、健康づくり

今年度の巡回ドックは**8月25日（木）・26日（金）**の2日間を予定しております。

6月頃に農協よりお知らせをいたしますので、ご希望の方はお申し込みください。

また、協会けんぽに加入されている皆さまは、巡回ドック申込時に**令和4年度全国健康保険協会管掌生活習慣病予防健診対象者一覧**が必要となりますので、大切に保管していただきますよう、よろしく申し上げます。



中春別乳牛改良同志会 絵画コンテスト

中春別乳牛改良同志会（寺澤 佳吾会長）では、昨年ご好評をいただいた絵画コンテストを皆様の声にお応えしまして再度開催する運びとなりました！

「絵画」というとなんだか敷居の高さを感じてしまいますが、皆さんが楽しんで参加していただけることを目的としています。参加者全ての人に景品が当たりますのでお気軽にご応募ください！



作品について

- ①テーマ：牛
- ②画材：自由（鉛筆、クレヨン、水彩絵具、油彩絵具など）
- ③様式：大きさ—A4（210mm×297mm）もしくは、A3（297mm×420mm）に限る
用紙—ご自宅にある画用紙
※指定の大きさ以外の作品は審査対象外になります。
- ④応募方法：ご自宅にある画用紙の裏面に下記内容をご記入の上ご応募ください。（額装の必要はありません）
「氏名」「年齢」「性別」「住所」「電話番号」「作品名」
- ⑤送付先：〒086-0652 野付郡別海町中春別南町3番地
JA中春別 畜産課 宛て

審査・発表について

- ①審査について：中春別乳牛改良同志会役員が審査いたします。（出品者名はすべて伏せて行います）
- ②発表について：令和4年7月号の本誌にて発表いたします。
- ③作品の紹介について：ご応募いただいた作品は、本紙に掲載並びに、JAに展示させていただきます。

※お送りいただいた作品を展示後、返却をご希望される方は畜産課までご連絡ください。

春からはランドセル、卒園おめでとう。



中春別保育園で3月26日(土)、卒園式が行われました。11人の園児が入場し、園長先生から一人ひとりに卒園証書が手渡され、園児から、お世話になった先生、保護者に感謝の言葉を伝えました。園長先生からは「失敗を恐れず何にでも挑戦して、楽しい小学校生活を送ってください。先生たちはどこに居てもいつでも皆さんを応援していきますからね。」とエールが送られました。最後に「はじめのいっぽ」を卒園児が元気に歌いました。保育園での思い出をこれからも大切に、小学校でもたくさん思い出をつくってください。



中春別保育園

卒園式



6年間の思い出を胸に、新たな一歩



中春別小学校

卒業式

中春別小学校では3月18日(金)に卒業証書授与式が行われました。

校歌を静聴し、校長先生から児童一人ひとりに卒業証書が授与されました。

学校のリーダーとして、たくましく成長した18人の中春っ子。在校生・保護者が見守る中、卒業生からお別れの言葉を送り、これまでの楽しかった学校生活を胸に、学び舎を後にしました。

中学生になっても、勉強に部活動などそれぞれの目標に向かって頑張ってください。ご卒業おめでとうございます。



それぞれの道へ、思い出が詰まった学び舎を築立つ



3月10日(木)、11人の生徒が中春別中学校を卒業しました。

卒業生代表の答辞では、お世話になった先生や保護者への感謝の気持ちが込められました。

コロナ禍での、学校生活や入試など不安な時もあったと思いますが、11人で卒業式を迎えることができました。

義務教育を終了し、春からは新しい制服を着てそれぞれの道を歩みます。たくさんさんの思い出を胸に、新生活を楽しんでください。ご卒業おめでとうございます。

卒業式

中春別中学校





馴致とは、なれなじませることです。育成牛のうちから、人、エサ、牛、環境、施設等への馴致をし、覚えてなれさせておくことで、飼養管理が楽に効率的になります。馴致が必要なことは、多岐にわたります。今回は生育ステージ毎の馴致と具体例として連動スタンションの馴致についてご紹介します。

1 ほ乳期（飼料・群）

ほ乳期は、牛にとって初めての事ばかりです。人工乳（スターター）等の飼料も、給与されたらすぐに食べられるというものではありません。次の生育ステージで給与する飼料を少量給与しながら、場合によっては口元に運び食べさせる行為を継続し馴致していきましょう。

また群管理にも馴らしていく必要があります。個体管理をしていた牛は、集団生活に馴れていないので、はじめて群管理をする場合は、似たような月齢・体格の牛で少頭数（3～5頭）の群を構成して馴致を行うと良いでしょう。



2 育成期（施設）

牛を新しい環境に移動した時に、施設に馴れていない故の挟まれ事故や、嫌がって入らない等のトラブルを起こすことがあります。

スタンションへの繫留、ウォーターカップからの飲水などは、使い方を牛に覚えさせる馴致が必要になります。ここでは、連動スタンションへの馴致を紹介します。

○連動スタンションへの馴致

牛が連動スタンションを嫌がる場合、以下の様な嫌な経験をしている事が多いです。

- ① 本来頭を入れる場所ではない隙間等に頭を入れて抜けなくなる
 - ② 連動スタンションから頭を抜くときは一度頭を持ち上なければならぬが、それを覚えていないうちに頭を持ち上げずに真後ろに下がったため、バーが解放されずに頭がひっかかって抜けなくなる
- 連動スタンションに馴致するには、施設内の子牛が頭を入れやすそうな隙間を塞ぐことと、連動スタンションから頭を抜く方法を覚えさせることが重要です。



写真 施設やパドックへの馴致を考慮した育成舎株式会社mosir 別海町中西別

連動スタンションに対して1週間で馴致するスケジュール(例)

1～2日目：連動スタンションで、1日3回人工乳を給与する。スタンションのロックはかけず、子牛が自由に頭を出し入れできるようにする。挟まる牛がないか確認し、1回の給餌は30分以内にする。給餌終了後に残餌を処分し、スタンションをロックし子牛が入らないようにする。

3～4日目：スタンションに馴れた牛には、ロックをかけて様子を見る。馴れない牛は、頭を上に向けてスタンションから頭を出す練習をさせるために、採食中にそっと近づき、頭をスタンションから出させ、そっと離れて、再び頭をスタンションに入れさせるという作業を繰り返し馴らしていく。

5～6日目：スタンションに馴れにくい子牛に対しても、ロックをかけてためす。一度ロックをかけて子牛が落ち着いている内にロックを解放し、子牛の頭を一度外に出させる。そっと離れて、また頭をスタンションに入れさせ、ロックをかける作業を何回か繰り返し馴らす。

7日目：全頭にスタンションのロックを行う。まだ馴れていない牛には、前日と同様の練習をさせる。ほとんどの子牛が7日間のスタンション馴致で、スタンションに入れるようになる。

少しずつ経験させて馴致を行い、牛も人もストレスの少ない飼養環境を実現させましょう。



●【酪農経営科】卒業証書授与式および農業クラブOB会入会式

3月1日(火)に令和3年度の卒業式が本校体育館で挙行政されました。在校生は教室でオンライン配信によって卒業式に参加しました。



農クOB会入会式の様子

94名の卒業生はコロナ禍にあっても、努力を重ねてそれぞれの進路実現を果たしました。

終了後に農業クラブOB会入会式が行われ、今年度の卒業生7名が新たにOB会に入会しました。新会員を代表して穴吹威織君が「今年度はコロナ禍にあっても、東北海道実績発表大会の当番校としてクラブ員とともに準備から運営までを協力して行うことができた。酪農経営科としても大きな経験であり、このように活動できたことは、地域のみなさんや諸先輩方の支援のおかげです」と感謝を述べ、さらに、「今後は私たちが後輩に対して支援していきたい。」と決意を表明しました。

なお、今年度の卒業式における表彰者は次のとおりです。

- (公)産業教育振興中央会御下賜金記念優秀卒業生
宮城 隆也
全国農業高等学校長協会賞
佐々木 海斗
- (公)栗林育英学術財団研練褒賞
内藤 羅依
日本学校農業クラブ北海道連盟農業クラブ員表彰
穴吹 威織

●【酪農経営科】別海町立上西春別小学校との連携事業

3月9日(水)に別海町立上西春別小学校3年生との連携事業を行いました。



小学生に説明している様子

酪農経営科の1・2年生の4つの研究班の生徒たちが酪農や乳牛、乳製品についてZOOMを使って説明しました。

質疑応答では、小学生から学校生活や実習について、研究をしていて役に立ったことはあるかなど、とても熱心な質問がありました。高校生にとっても社会性や指導性を高めるよい機会となりました。

●【専攻科】特別教育活動③

2月25日(金)に送別激励会を実施しました。修了式を間近に控えた2年目学生に向け、1年目学生が学校生活を振り返るゲームやスライドショーを上映し、思い出話を花を咲かせました。今後酪農を担っていく学生達へのよい思い出になったと思います。



特別教育活動の様子

●【専攻科】基礎研究活動発表会

2月25日(金)、5名の学生がスライドを作成し、1年間の調査結果や考察、課題を発表しました。

基礎研究活動では、1年目学生が酪農経営の基礎を学ぶことを目的に、自家や研修先の乳生産や繁殖状況調査、飼料や採草地の土壌分析等のデータを収集、経営状況を把握し、その結果に基づいて2年目の修了研究で経営改善に取り組みます。



基礎研究活動発表会

学生それぞれの視点で経営を分析・考察し、課題を見つけ出していました。

●【専攻科】修了証書授与式挙行政

3月1日(火)専攻科ゼミ室において、第49回農業特別専攻科修了証書授与式が挙行政されました。今年度の修了生3名は、例年にも増して酪農について熱心に取り組む学生でした。3名のうち2名は別海町と浜中町で自家牧場に入り、1名は農業記者として新しい道を目指します。彼らが無事修了を迎えることができたのも地域の皆様、関係機関のご理解とご協力あつてのことです。この場をお借りして感謝申し上げます。



第48回修了証書授与式

●【専攻科】修了研究活動にむけて

3月10日(木)、1年目学生が次年度おこなう修了研究活動や調査方法を相談するために、根室農業改良普及センターに伺い、自家の採草地改良と子牛の育成について、齋藤地域第一係長と伊藤普及指導員にご教示いただきました。



相談の様子

学生から「親切に多くの専門的なアドバイスをいただき、自信をもって4月からの実験をおこなえます」などの感想が寄せられました。



酪農応援スペシャル

生放送ご視聴ありがとうございました！

JAグループ北海道が提供する HBCテレビ「あぐり王国北海道NEXT」では、春休み期間の生乳の消費拡大を目指して、令和4年3月12日(土)に生放送スペシャルでお届けしました！



放送内容を振り返り！

搾乳現場から生中継

大竹彩加アナが、夕方の搾乳現場を生中継でリポートしました。

大竹アナは搾りたての生乳の美味しさに感動！

牧場の方によると、寒い時期の牛乳はとても濃くて美味しいのだとか。



牛乳飲み方研究会

森 結有花アナが、新しい牛乳の飲み方を徹底研究。十数種類の組み合わせの中から森崎リーダーが選んだ“おすすめの一杯”は、なんと、「サイダー牛乳」！

意外な組み合わせかもしれませんが、クリームソーダのような味わいでした！



オススメの割合はサイダー3:牛乳7

視聴者生電話！酪農クイズ

番組史上初の試みとなる視聴者生電話コーナーも実施！見事クイズに正解された方には、豪華乳製品セットをプレゼントしました♪

牛乳でカンパイ！

番組の最後には、全道の酪農家さんと乳牛に感謝をこめて

出演者と視聴者の皆さんとともに牛乳で乾杯！



皆さんも牛乳・乳製品を飲んで食べて、北海道の酪農を応援しましょう！

～4月の放送予定～

ご当地JAカレー1グランプリを開催！！

北海道各地のJAオリジナルカレー…。その中から、あぐり王国でNo.1カレーを決定します！



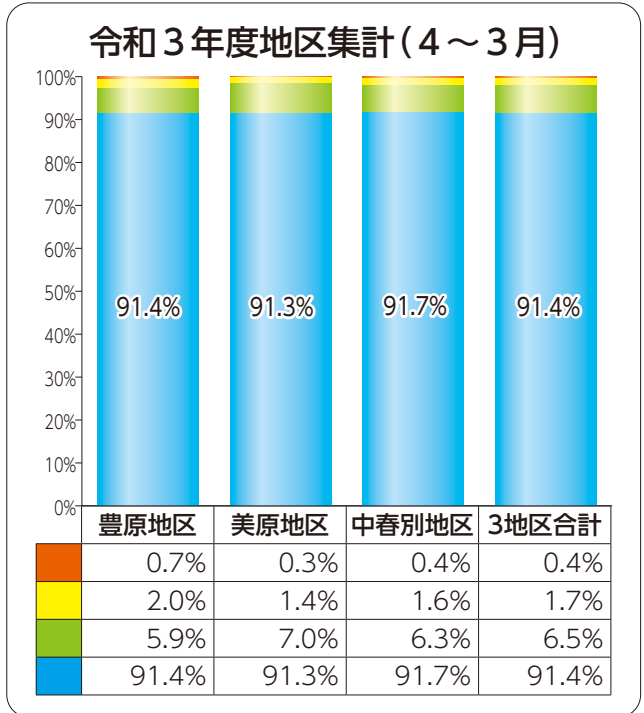
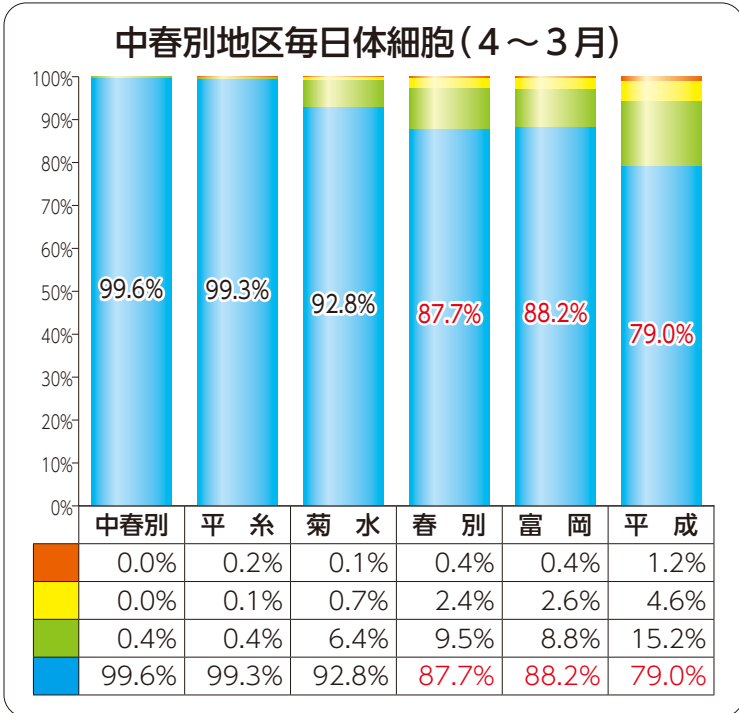
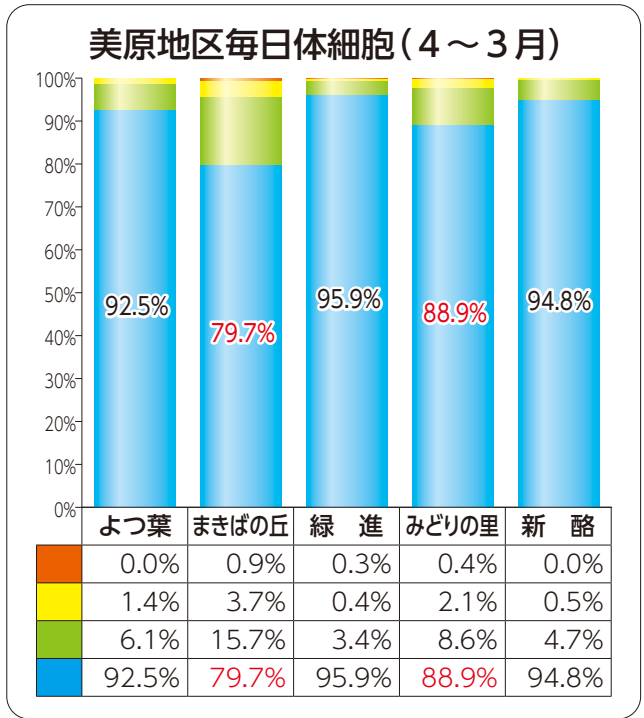
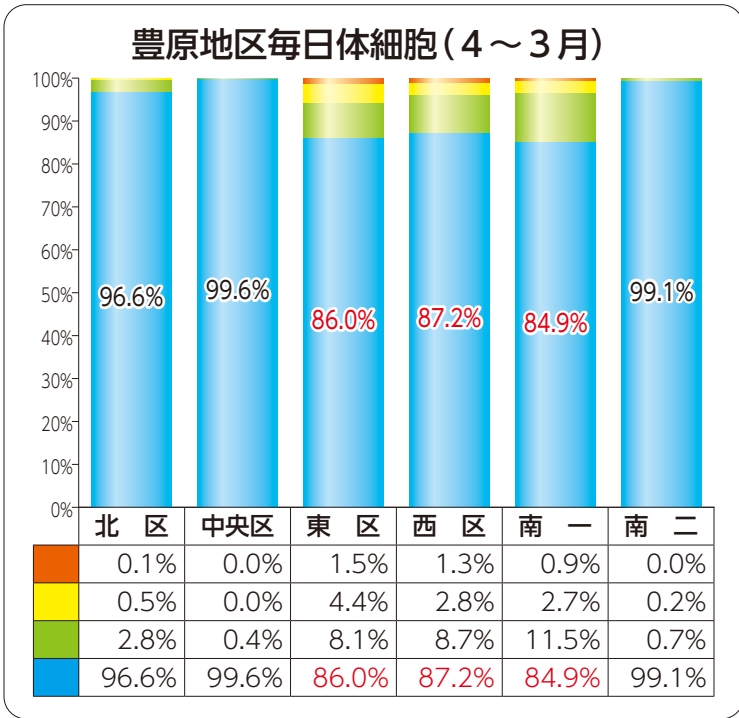
※ 放送内容は変更になる可能性があります。

生乳汚染事故を無くそう!

令和4年3月31日現在	JA中春別発生	管内合計件数
抗菌性物質混入事故	4件	9件
生菌による汚染事故	0件	1件
異物混入、加水、血乳による汚染事故	0件	3件
異臭、異常風味による汚染事故	0件	2件

**しっかり点検！
しっかり確認！
より良い生乳生産を!!**

良質生乳生産推進委員会からの標語



凡例： ■ 50.5万以上 ■ 40.5~50.4 ■ 30.5~40.4 ■ 30.4万以下

第13回 理事会の動き

令和4年3月15日(火)

議案 1 学識経験理事並びに員外監事選任に係る理事会推薦について

第14回 理事会の動き

令和4年3月29日(火)

報告事項

- 1 組合員の加入について
- 2 組合員の脱退について
- 3 令和3年度12月末定期監査報告書について
- 4 令和4年度理事報酬額の諮問に対する答申について
- 5 令和3年度2月末基準決算見通しについて
- 6 試採用辞令の発令について
- 7 個人情報内部監査報告について
- 8 令和3年度草地整備促進支援事業に係る利子助成について
- 9 令和3年度生産性向上整備事業に係る助成金の支出について
- 10 令和3年度2月末営農関連実績について
- 11 令和3年度北海道農業公社リフレッシュ事業に係る自己負担金の精算について
- 12 令和3年度畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業)に係る自己負担金の精算について
- 13 処理不可能乳発生回避に向けた「Jミルク「緊急酪農生産基盤堅持対策事業」及び生乳安定生産対策事業を活用した「北海道独自対策」の実施について

議案

- 1 令和4年度役員との取引基準について
- 2 令和4年度役員賠償責任保険契約の締結について
- 3 固定資産の取得について
- 4 準職員就業規則の一部改正について
- 5 育児および介護休業規程の一部改正について
- 6 令和4年度貸付金利率の最高限度率について

- 7 令和4年度信用供与等限度額設定について
- 8 取引リスク評価書の変更について
- 9 令和4年度飼料奨励実施要領(案)について
- 10 令和4年度生産性向上整備事業実施要領(案)について
- 11 令和4年度営農年度財産造成に伴う資金の貸付について
- 12 糞尿利活用草地整備改良事業実施要綱(案)について
- 13 令和4～7年度畜産担い手育成総合整備事業(再編整備事業豊原地区)の実施について
- 14 令和4年度畜産担い手育成総合整備事業(新酪中春別地区)の実施について
- 15 令和4～8年度草地畜産基盤整備事業(美原地区)の実施について
- 16 令和4年度草地難防除雑草駆除技術実証事業に係る事業計画について
- 17 令和4年度自給飼料生産性向上対策事業の実施について
- 18 令和4年度(前期)「J A中春別選定種雄牛(案)」について
- 19 令和4年度給与表について
- 20 令和3年度期末賞与の支給について
- 21 令和4年度職員給与の定期昇給について

協議事項

- 1 地区別組合員懇談会の意見集約について

2月乳質乳価一覧表

			単価 (円)	算出基礎 (kg)	支払乳価 (円)	前年同期 (円)	差 (円)
乳脂肪分			938.338		38.79	38.95	-0.16
無脂乳固形分			593.660		52.71	53.69	-0.98
生産者補給金			6.5921		6.59	6.59	0.00
集送乳調整金			2.0670		2.07	2.01	0.06
補給金合計			8.6591		8.66	8.60	0.06
乳質 単 価	生菌数	ランク1	2	311,448,789.5	3.77	3.74	0.03
		ランク2	0	9,164,996.0			
		ランク3	-3	108,437.7			
	体細胞数	ランク1	2	288,423,197.9			
		ランク2	1	16,538,070.5			
		ランク3	-2	3,624,393.5			
合計					103.93	104.98	-1.05

2月生乳受託実績表

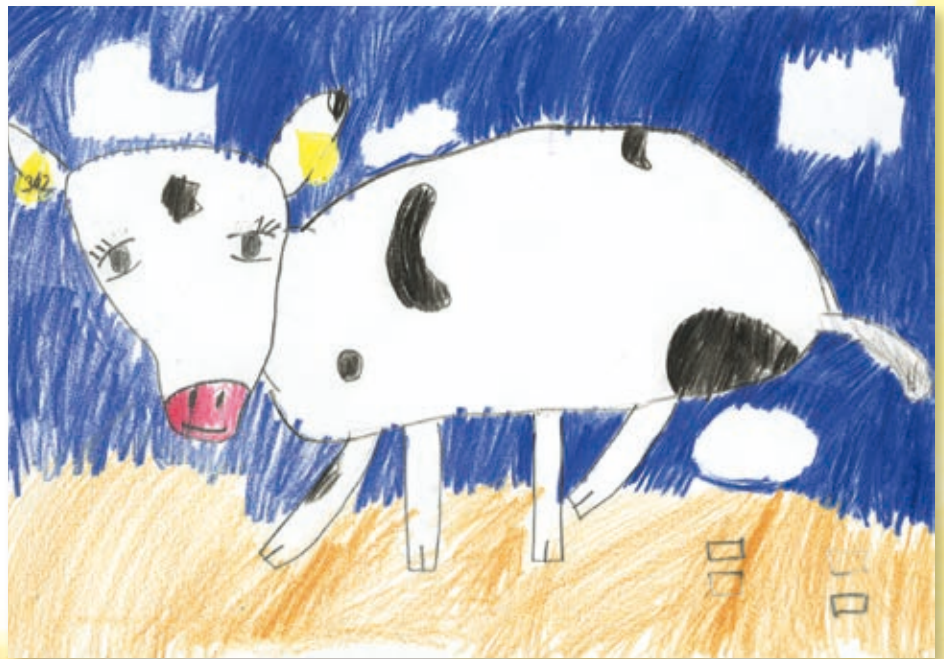
項目	単価(円)/(kg)%	
乳脂肪分①	38円79銭	
無脂乳固形分②	52円71銭	
生産者補給金③	6円59銭	
集送乳調整金④	2円07銭	
脂肪率	全道	4.13%
	農協	4.22%
無脂固形分率	全道	8.88%
	農協	8.83%
成分乳価 (①+②+③+④=⑤)	全道	100円16銭
	農協	100円63銭
乳質乳価⑥	全道	3円77銭
	農協	3円68銭
乳代合計 ⑤+⑥	全道	103円93銭
	農協	104円31銭
	差異	0円38銭

中春別乳牛改良同志会 絵画コンテスト

応募作品のご紹介



たかの ななみさん (5才)



高橋 りささん (7才)

「同志会絵画コンテスト」で応募いただいた作品のご紹介をします。

組合員の広場では、習字や俳句、短歌、絵画、写真など多数の作品を募集しております。
営農振興課 原内までお気軽にご連絡ください。



令和3年4月号から広報誌をリニューアルして、今月号で丸1年となりました。これからも農協と組合員をつなぐ広報誌として、より良い紙面づくりに励んでまいります。

また、これから季節の変わり目となりますので、体調管理には十分にお気を付けてください。[原内]